

第25期貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

東芝ITコントロールシステム株式会社

代表取締役 小林圭一郎

(単位:円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|------------|----------------|--------------|----------------|
| I 流動資産 | 9,166,661,080 | I 流動負債 | 8,004,521,436 |
| 現金及び預金 | 27,095,614 | 支払手形 | 1,111,199,441 |
| 受取手形 | 834,859,021 | 買掛金 | 3,795,424,217 |
| 売掛金 | 6,376,144,019 | 短期借入金 | 1,723,416,885 |
| 製品 | 137,822,540 | 未払消費税 | 1,213,301,792 |
| 半製品 | 11,985,500 | 未払費用 | 61,839,800 |
| 材料 | 124,396,309 | 前受り | 10,395,000 |
| 仕掛品 | 1,199,030,569 | 預り保証金 | 84,944,301 |
| 短期貸付金 | 53,999,992 | 契約保証金 | 4,000,000 |
| 短期繰延税金資産 | 348,833,360 | | |
| その他流動資産 | 52,494,156 | | |
| II 固定資産 | 909,806,302 | II 固定負債 | 1,254,065,000 |
| 1 有形固定資産 | 200,792,782 | 退職給付引当金 | 1,228,444,000 |
| 建物 | 31,692,560 | 役員退職慰労引当金 | 25,621,000 |
| 構築物 | 37,500 | | |
| 機械及び装置 | 64,251,781 | 負債合計 | 9,258,586,436 |
| 車両運搬具 | 0 | | |
| 工具器具備品 | 100,735,271 | 純資産の部 | |
| 建設仮勘定 | 4,075,670 | I 株主資本 | 817,880,946 |
| 2 無形固定資産 | 77,499,229 | 1 資本金 | 450,000,000 |
| 電話加入権 | 9,821,721 | 2 資本剰余金 | 251,002,119 |
| ソフトウェア | 61,906,056 | 資本準備金 | 251,002,119 |
| 工業所有権 | 5,771,452 | その他資本剰余金 | 0 |
| 3 投資その他の資産 | 631,514,291 | 3 利益剰余金 | 116,878,827 |
| 長期供託保証金 | 99,543,125 | 利益準備金 | 0 |
| 長期繰延税金資産 | 519,182,817 | その他利益剰余金 | 116,878,827 |
| その他投資等 | 12,788,349 | 繰越利益剰余金 | 116,878,827 |
| | | 純資産合計 | 817,880,946 |
| 資産合計 | 10,076,467,382 | 負債・純資産合計 | 10,076,467,382 |

(有形固定資産減価償却累計額) 134,056,550

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価方法及び評価基準

- (製 品) 個別法による原価法
- (仕 掛 品) 個別法による原価法
- (材 料) 移動平均法による原価法

(2) 有形固定資産の減価償却の方法は、法人税法に規定する定率法によっています。
無形固定資産の減価償却の方法は、法人税法に規定する定額法によっています。

(3) 消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

(4) 税効果会計を適用しています。

繰延税金資産の発生原因別の主な内訳

(単位:円)

| | |
|----------------|-------------|
| 賞与引当金繰入限度超過額 | 341,283,556 |
| 退職給与引当金繰入限度超過額 | 502,880,065 |
| その他の | 23,852,556 |
| 合 計 | 868,016,177 |

(5) 退職給付引当金は、退職給付会計基準に基づき、原則法により計上しています。

(退職給付制度)

当社は、退職一時金制度と企業年金制度を採用しています。

(6) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備える為、内規に基づき、期末要支給額の100%を計上しています。

2. 会計方針の変更

(1) 貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等

当事業年度から、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」を適用しています。
これによる損益の影響はありません。
従来の資本の部の合計に相当する金額は、817,880,946 円です。

3. 当 期 純 利 益 10,924,518 円